

令和4年度
学校関係者評価
報告書

令和5年4月28日
光塩学園調理製菓専門学校

令和4年度 学校関係者評価委員会

1 日 時：令和5年3月22日（水） 16:30～17:45

2 場 所：光塩学園調理製菓専門学校 2階役員室

3 出席者（敬称略）

<委 員>

- ・今泉 常夫（大通地区西14丁目町内会会長）
- ・萩原 荘介（株式会社ドン・バロン代表取締役）
- ・宮永 尊文（楡法律事務所弁護士）
- ・藪中由理子（医療法人社団円山公園内科理事）
- ・龍 梓（酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校教諭）

* 五十音順

<学校側>

- ・南部ユンクィアンしず子（理事長）
- ・福富 徳男（法人事務長）
- ・高橋 俊介（学校長・本会委員長）
- ・野村 一正（校長補佐・教務広報部長）

4 次 第

司会：委員長（高橋）

(1) 開 会

(2) 理事長挨拶

(3) 会議の進め方についての説明

(4) 協 議

ア 学校概要説明

- ・沿革
- ・理念, 教育目標 等
- ・学生の状況 他

イ 令和4年度 自己評価結果の報告及び意見交換

ウ まとめ

(7) 学校長挨拶

(8) 閉 会

5 教育理念・教育目標・重点目標

=教育理念=

建学の精神である“光と塩”に基づき、豊かな知性・徳性・技術を磨く。

《教育目標》

情操豊かで、高い見識と専門的な知識・技能を備えた社会人の育成を目指す。

<重点目標>

- (1) 将来、長きに渡り活躍できる職業人を育成する為の教育の質の向上に努める。
- (2) 技術の向上及び社会性を獲得するための指導の推進、改善に努める。
- (3) 各法令、設置基準及びガイドラインに則った適正な学校運営を行う。

6 評価項目の取組状況・達成状況

1 教育理念・目的・育成人材像

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	(4)
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の3～5年後を見据えた将来構想を抱いているか	3	(3)
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	(4)
学校における職業教育の独自の特色として挙げられているものはあるか	4	(4)

* () 内は昨年の評価

〔課題〕

- ・建学の精神である「光と塩」に基づき教育理念や3つのポリシーを定め、社会や現場で即戦力として活躍できる人材の育成を目指している。しかしながら、深刻な入学者減少に直面しており、更なる入学者確保の方策を打ち出していく必要がある。
- ・どのように実践教育の場を確保していくか、如何に他校との差別化を図るかが課題である。
- ・理念・目的・育成人材像等をキャンパスガイドやホームページ等を通じて周知に努めているが、保護者や高校生へのさらなる情報発信について検討する必要がある。

〔改善の方策〕

- ・本校の理念を基軸として、時代のニーズに合わせたカリキュラムを編成することで他校との差別化をさらに図っていく。
- ・ホームページや保護者向けのパンフレットを活用し、本校の教育理念等を広く発信していく。
- ・他校よりも優れている卒業生とのネットワークを活用した方策を検討する。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・実践教育として、レストラン実習だけでなく、テイクアウトの需要を意識した場を確保していく必要があるかもしれない。

2 学校運営

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
目的等に沿った運営方針および事業計画が策定されているか	3	(4)
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	(4)
人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	(4)
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	(4)
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	(4)

〔課題〕

- 教育理念、教育目標等の方針が定められているが、事業計画の職員への周知が不十分である。
- 学校組織において、人員減少による職員の効率的かつ機能的な配置について難航している。

〔改善の方策〕

- 教育理念、教育目標等の方針に基づき作成された事業計画を全職員で共有する。
- 各部署の評価体制を整備し、事業計画の改善を進める。

〔特記事項〕

- 本校独自の求人情報アプリ「スタログ」を導入し、教員と学生の就職情報の共有がより促された。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 特になし

3 教育活動

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	(4)
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	(4)
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	(4)
関連分野における実践的な職業教育（校外実習等）が体系的に位置づけられているか	4	(4)
授業評価の実施・評価体制はあるか	3	(3)
職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	(4)
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	(4)
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	(4)
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	(4)
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3	(3)
他の教育機関との間の単位互換に関する明確な基準はあるか	4	(4)

〔課題〕

- 社会環境が日々変化する中で、本校のカリキュラムが社会のニーズに即したものが検証する体制が不十分である。

〔改善の方策〕

- 「学校関係者評価委員会」をはじめ、学外者や多方面からの意見を頂ける機会を増やす具体的策を挙げ、実施する。
- 卒業後必要な資格（認定）も含め時代に合わせた資格を再度検討していく必要がある。
- 授業評価の体制を体系化し、実施する。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 北海道が食と観光に力を入れてきているので、今よりももっと外部(地域)との繋がりを持つとよいのではないかと。それによって知名度が広がるのではないだろうか。
- 学校も3～5年後の先を見据えて教育活動の内容を考えなければならない。検討には、外からのアドバイザーが必要と考える。

4 学習成果

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
就職率の向上が図られているか	4	(4)
資格取得率の向上が図られているか	4	(4)
退学率の低減が図られているか	3	(3)
卒業生・在校生の外部での活躍及び評価を把握しているか	4	(4)

〔課題〕

- ・製菓衛生師試験に向けた対策授業を行っているが、今年度の合格率は96.7%（昨年度89.7%）であった。より高い合格率を目指す。
- ・従前に比べて退学者は減少しているが、学生数の分母も減っているため退学率としては大きな減少とはなっていない。
- ・国の修学支援制度を受けている学生でも経済的理由による退学者がいる。

〔改善の方策〕

- ・製菓衛生師試験に向けた対策授業のより充実化を図るとともに、意識と意欲を高めるための継続的な意識喚起が必要である。
- ・これまで以上に担任と保護者との連携を密にすることや精神面で課題を抱える学生の早期発見・面談実施など、教職員の意識をより高め、それらの意思統一を図るための方策を実施する。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・特になし。

5 学生支援

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	(4)
学生相談に関する体制は整備されているか	4	(3)
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	(4)
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	(3)
保護者と適切に連携しているか	4	(4)
卒業生への支援体制はあるか	3	(3)
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	(3)

〔課題〕

- 例年、精神面での悩みを持って入学する学生が一定数存在する。
- 社会人を含めた学生のニーズに答えているが、年齢による再就職に対してのハンデがあり、就職支援が課題となっている。

〔改善の方策〕

- 学生相談については、各教員が学生にとって相談しやすく話しやすい環境を作る努力をする。場合によっては専門家の助力を仰ぐ。
- 社会人経験者のアピールポイントについて求人先に理解を求める努力をする。社会人学生に配慮し、長期履修制度等の導入の必要性を検討する。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 特になし。

6 教育環境

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
施設・設備は、メンテナンスも含め教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	(4)
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	(3)
避難訓練を含む防災に対する体制は整備されているか	4	(4)

〔課題〕

- 計画的な全体の修繕及びメンテナンスを実施しているが、AV 機器の一部に老朽化したものや時代に合わなくなったものなどがある。
- 新型コロナの影響により実施できなかった校外実習が今年度は2年ぶりに実施できた。しかしながら、海外研修や国際交流事業については、中止となった。
- 保育園との合同避難訓練、職員による AED 講習を行っている。しかし、避難訓練については、新型コロナの影響で学生が密になるのを防ぐために簡易的になっている。

〔改善の方策〕

- 収入減が深刻ではあるが、教育活動に支障が生じないよう、設備の全体のメンテナンスを行ったうえで、AV 機器の老朽化の対応を検討する。
- 防災体制については、保育園教員とのさらなる連携を進めていく。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 特になし。

7 学生の受け入れ募集

評 価 項 目	自 己 評 価	
	適 切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
学生募集活動は、適正に行われているか	4	(4)
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	(4)
入学選考は、適正に行われているか	4	(4)
学納金は妥当なものとなっているか	4	(4)
志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制はあるか	4	(4)

〔課題〕

- ・オープンキャンパス等のイベント実施回数を増やしている状況とインスタグラム等で在校生の授業風景や卒業生の近況などを伝えてきたが、更なる入学者確保の方策を打ち出していく必要がある。

〔改善の方策〕

- ・学生募集活動については、オープンキャンパス等のイベント内容の工夫、SNSの活用方法についてさらに検討を行う。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- ・特になし。

8 財 務

評 価 項 目	自 己 評 価	
	適 切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	(3)
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	(4)
財務について会計監査が適正に行われているか	4	(4)
財務情報公開の体制整備はできているか	4	(4)

〔課題〕

- 今後の少子化による更なる学生数の減少が考えられるなかで、如何に学生数を確保するか。その学生数でどのような運営を行っていくか課題である。

〔改善の方策〕

- 入学者の減少に伴う職員数の適正化を行うことにより経営の効率化を図るとともに、適切かつ効率的な予算配分について検討する。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 光熱費が高騰してきている為、エレベーター使用削減や廊下照明の節電などは必要。

9 法令等の遵守

評 価 項 目	自 己 評 価	
	適 切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	(4)
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	(4)
自己評価を実施するとともにその結果を公開し、問題点の改善に努めているか	4	(4)
個人情報に関し、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	3	(3)

〔課題〕

- SNS の発信における個人情報保護の管理体制を整備する必要がある。
- 個人情報の取扱いに関して、学生に対する啓発活動はおこなっているがその理解度については不明である。また、職員対象の活動は不十分である

〔改善の方策〕

- 個人情報の取扱いについてのルールを明文化し、職員で共有する。
- 個人情報に係る学生に対する啓発については今後も不断で継続的な指導を行っていく。
また、学生への指導に係る教職員の研修の機会を設ける。
さらに、問題が起きた際の対処フローなどの規定を定める。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 高校生についても、SNS の個人情報保護や動画投稿等の指導を行うが、実感が湧いていない様子。継続的な指導が必要。
- 金融リテラシーの教育を持つと良いのではないかな。

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	(3)
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	(4)
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	(3)

〔特記事項〕

- ・町内の奉仕活動や料理教室、文化庁管轄伝統文化親子教室事業に協力、全道の中中学生を向けての職業実習体験を行う事が出来た。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

・地域の料理教室は、非常に丁寧に教えてもらい、多くの学生と交流ができて大変感謝しています。継続してやって頂きたいと思います。

11 国際交流

評価項目	自己評価	
	適切...4 やや不適切...2	ほぼ適切...3 不適切...1
海外研修や留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	(3)
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	(4)
留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	(4)

〔特記事項〕

- 海外研修旅行は新型コロナの影響により実施出来ていない。同様に短期留学生の受け入れも行えていないが、外国籍の学生の入学は行っている。
- 留学生の在籍管理について札幌入国管理局から適正校の認定を受けている。

【学校関係者評価委員会の評価及び意見等】

- 特になし。

7 学校関係者評価の総括と今後に向けての改善の方策について

《目標・方策》

1.教職員間の情報の共有と連携の強化

入学の目的や卒業後の進路目標、更に学生個々の能力等について多様化が進んでいる現状を考えたとき、学校には学生や保護者のそれぞれの状況に応じた適切な対応が求められる。

昨年度から職員数の減少に伴い全ての教職員が保護者を含む個々の学生の状況を把握し、日常生活における小さな変化も見逃さず連携を取り合って適切な指導や対応ができるよう協力体制を整える。また、個別の案件において担当が一人で問題を抱え込み負担を感じたり、対応のバラツキによって大きなトラブルに発展することがないように、教職員間の情報の共有と連携強化の体制を構築する。

2.情報通信システムの効果的活用

様々なオンライン支援ツールが利用出来るようになり、情報の交換・収集・提供等が容易になったことから、広報活動・就職活動・学生理解・授業・自己啓発活動等の様々な場面でこれらの機能を有効に活用し、学校全体の機能的かつ効率的な組織運営に努める。

3.教職員個々の資質向上と学生に対する啓発活動の推進

卒業後、それぞれの現場において即戦力として力を発揮できる有為な人材を育成するという本来の目的に加え、作る喜びや学ぶことの意義を実感させる魅力的な教材や指導方法について教職員一人ひとりがその力量を高められるよう、校内外における研修の場を積極的に設ける。また、ネットによるトラブルなど学校外で起きている様々な事象・事故等への予防的措置として、学生に対する啓発活動を不断に推し進める。

《まとめ》

光塩学園は、昭和23年の開学から現在まで、現場経験豊富な指導陣による実践的な教育を通じて専門的な知識・技能を備えた人材を多く輩出してきた歴史がある。

今回ご参加いただいた委員の皆様は、「企業経営者」「地域有識者」「教育関係者」の3つの分野でそれぞれ活動されており、本校が目指す学生像や具体的な教育実践の内容について貴重なご意見をいただけたことは、これから本校が目指すべき学生像・学校像を多面的かつ具体的に考えるための良い機会となった。心より感謝申し上げます。

項目ごとに示した改善の方策については沢山という印象があるが、これらすべてを網羅するという事ではなく、やらなくてはならないこと、実現可能なことを取捨選択し、前のめりにならず確実な実現を目指していきたい。

文責：高橋 俊介（学校長・本会委員長）